

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.58 May 2018

2018年度総会・表彰式並びに第1回研究会を開催 5月26日(土)

総会・表彰式

14時から、関西大学校友・父母会館2階会議室で開催し、40名の方が出席しました。西村会長並びに石川先端科学技術推進機構長から挨拶の後、議事に移り、2017年度事業報告・決算、並びに2018年度役員・事業計画・予算の各議事について、審議の結果、異議なく承認されました。

総会終了後、表彰式に移り、当会表彰規程により、2017年度各賞受賞者に対して、西村会長から表彰が行われました(所属・資格は2017度のもの)。受賞者におかれましては、今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。



(敬省略)

学の実化賞	課題： 失明回避に貢献するポータブル視野計の開発・事業化 システム理工学部 教授	小谷 賢太郎
産学連携賞	課題： 超精密切削に適したステンレス鋼の調質・窒化技術の開発 大阪冶金興業株式会社 システム理工学部 准教授	岩佐 康弘 松田 茂敬 脇濱 智道 古城 直道
研究奨励賞	課題： Maintaining Homogeneity of Severity Rating among Triage Officers in Collaborative Information Triage 総合情報学研究科・知識情報学専攻	安尾 萌
	課題： Recent Advances on Active Noise Control: Open Issues and Innovative Applications システム理工学部 教授	梶川 嘉延
	課題： 複数回の折り畳み形状回復を示す生分解性形状記憶フィルムの作製 理工学研究科 化学生命工学専攻	川岸 弘毅

<学の実化賞 受賞>



西村会長 小谷教授

<産学連携賞 受賞>



左から、西村会長 岩佐氏 松田氏 脇濱氏 古城准教授

<研究奨励賞 受賞>



西村会長 安尾氏



西村会長 梶川教授



西村会長 川岸氏

第1回研究会

2018年度総会・表彰式の終了後、38名の出席者を迎え、第1回研究会を開催しました。

2017年度「学の実化賞」受賞記念講演

演題：「失明回避に貢献するポータブル視野計の開発・事業化」

講師：システム理工学部 教授 小谷 賢太郎 氏

小谷教授は、長年、眼球運動計測技術を応用した視覚認知の研究に携わり、医工連携のアプローチとして、日本人の失明の主たる原因である緑内障を早期診断するための視野計測システムの開発に取り組んでこられました。短時間で簡便に視野異常のスクリーニングができれば、緑内障患者の早期発見につながり、医学界においても画期的なものとなります。今回、これらの研究成果が「学の実化」にふさわしい実績として認められ受賞に至りました。



講演では、緑内障の怖さ、早期診断の大切さ、従来の視野計の問題点、新たな視野計の開発に至った経緯、原理、開発の課題から、今後の展開について判りやすく解説いただきました。

現在、主流であるハンフリー視野計は、暗室など大掛かりで高価な装置を必要とし、被験者も長時間一点を固視しながら視野内の光を追うもので、非常に負担が大きく神経を疲れさせるものです。これに対して小谷教授の手法は、ゴーグルのように装着したヘッドマウントディスプレイ（HMD）に呈示される光を固視しながら、次に呈示される光（検査点）を視認した後、視線を検査点に移すことで次々と視線運動を繰り返します。この眼球の動きにより生じる微量の電位差を自動的にキャッチし、視野移動を検出する（EOG：electro-oculography法）ことで、短時間に視野領域が抽出される非常に簡便なものです。実際に、ハンフリー視野計との比較試験では、良好な相関関係が得られ、被験者の負担も軽く高い評価が得られています。上市に向けた課題として、更なる軽量化や装着時の快適性アップなどを挙げておられました。



最後に、本年4月にベンチャーを立ち上げたこと、またこれまで多くの皆さんのサポートを得て事業化に携わることができた感謝と、市場をほぼ独占しているガリバー的な存在のハンフリー視野計の牙城を崩すべく、数年後の上市を目指す強い決意を述べられました。

アンケート集計結果

今年度も当会研究会について、会員の要望を把握し今後の研究会運営に反映するため、アンケートを実施いたします。

今回は15件の回答を得ました。その中で、研究会の内容について「参考になった」27%、「やや参考になった」60%、また、「興味深い」27%、「やや興味深い」60%の回答をいただきました。長さについては80%が「ちょうど良い」との回答でした。関心のある技術分野については「医療・福祉」「機械・メカトロニクス」「ものづくり・加工」が最も多く、次いで「素材・材料」でした。さらに「知りたい情報」については、「研究者の研究内容・専門分野」「実用化が期待される研究成果」との回答を多くいただきました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University